

事業名:水産流通基盤整備事業

地区名:石垣地区 石垣漁港(沖縄県石垣市)

●地区の概要

本漁港は、沿岸でのモズク養殖に加え、沖縄には黒潮によってマグロ、カツオ等が回遊する好漁場を有する生産の拠点であるとともに、八重山地域の各漁港からも水産物が集約される流通拠点漁港である。当漁港内のモズク加工場は、関東から九州にかけての県外出荷量において県内2位を占めるなど、モズクの一大出荷拠点となっている。

また、本漁港は、台風の常襲地帯となっており、避難港としての役割も担っている。

陸揚量: 1,122トン、陸揚金額: 610百万円

主な魚種:もずく類、まぐろ類、かつお

●事業の目的

係留施設の不足により、休憩スペースと陸揚げスペースが混在し、水産物の陸揚げ作業に支障をきたしており、モズクの盛漁期には、陸揚げのため長期間の潮待ちが発生するとともに、岸壁は露天であり日差しや高温によるモズク等の品質低下が課題となっている。このため、休憩岸壁を整備し、陸揚げとのゾーン分けを行った上で十分な陸揚げスペースを確保するとともに、岸壁に屋根を整備し、陸揚される水産物の品質向上を図る。

また、台風時に浮桟橋が被災するなど港口の静穏度が不十分であることから、波除堤を整備するとともに、耐震・耐津波性能を確保していない護岸の強化を行う。

事業内容

・主な事業量 : 5号岸壁(新設)87m、6号岸壁(新設)87m、道路護岸(新設)269m、第15突堤(新設)36m、第16突堤(新設)30m、4号岸壁(改良)40m、第2護岸(改良)198m、道路(新設)441m、2号船揚場(改良)一式、5号船揚場(改良)一式、用地護岸(13)(改良)130m、用地護岸(14)(改良)72m

・事業費 : 1,301百万円

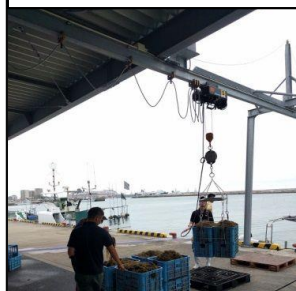
・事業主体 : 沖縄県 事業期間 : H30~R9

・令和7年度実施要望額(事業費) : 190,000千円
(国費) : 171,000千円

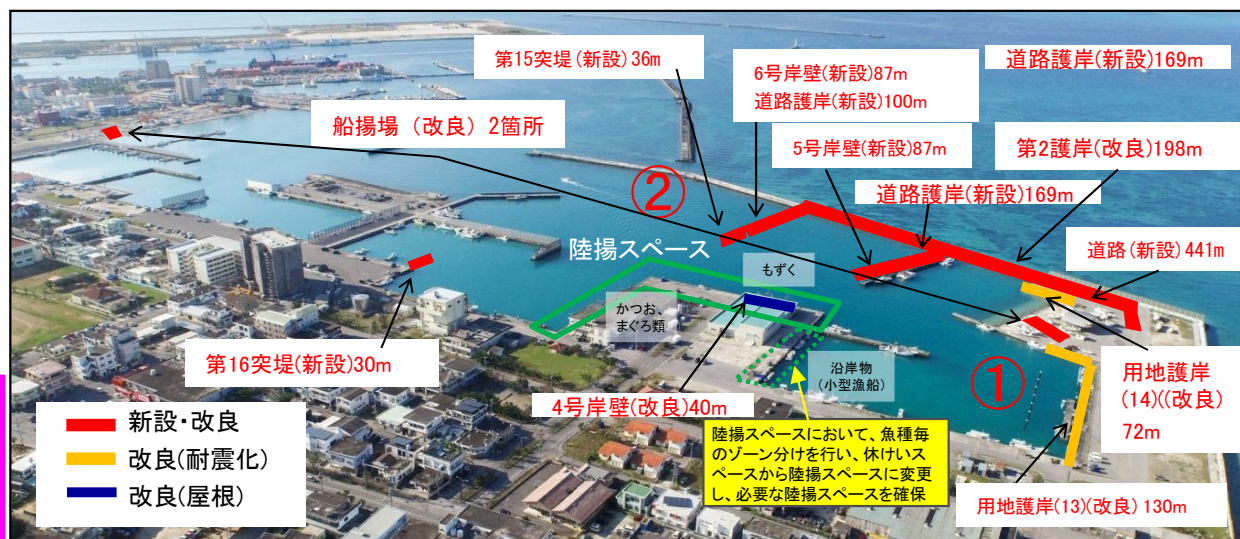
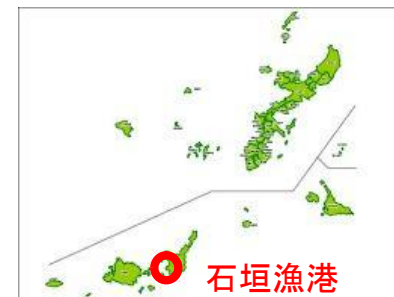
・令和7年度事業実施予定箇所:

4号岸壁(改良) 一式	道路護岸(1)(新設) 56m
5号岸壁(新設) 87m	道路護岸(2)(新設) 一式
2号船揚場(改良) 一式	
5号船揚場(改良) 一式	

モズク陸揚げ状況



漁船陸揚げ利用状況

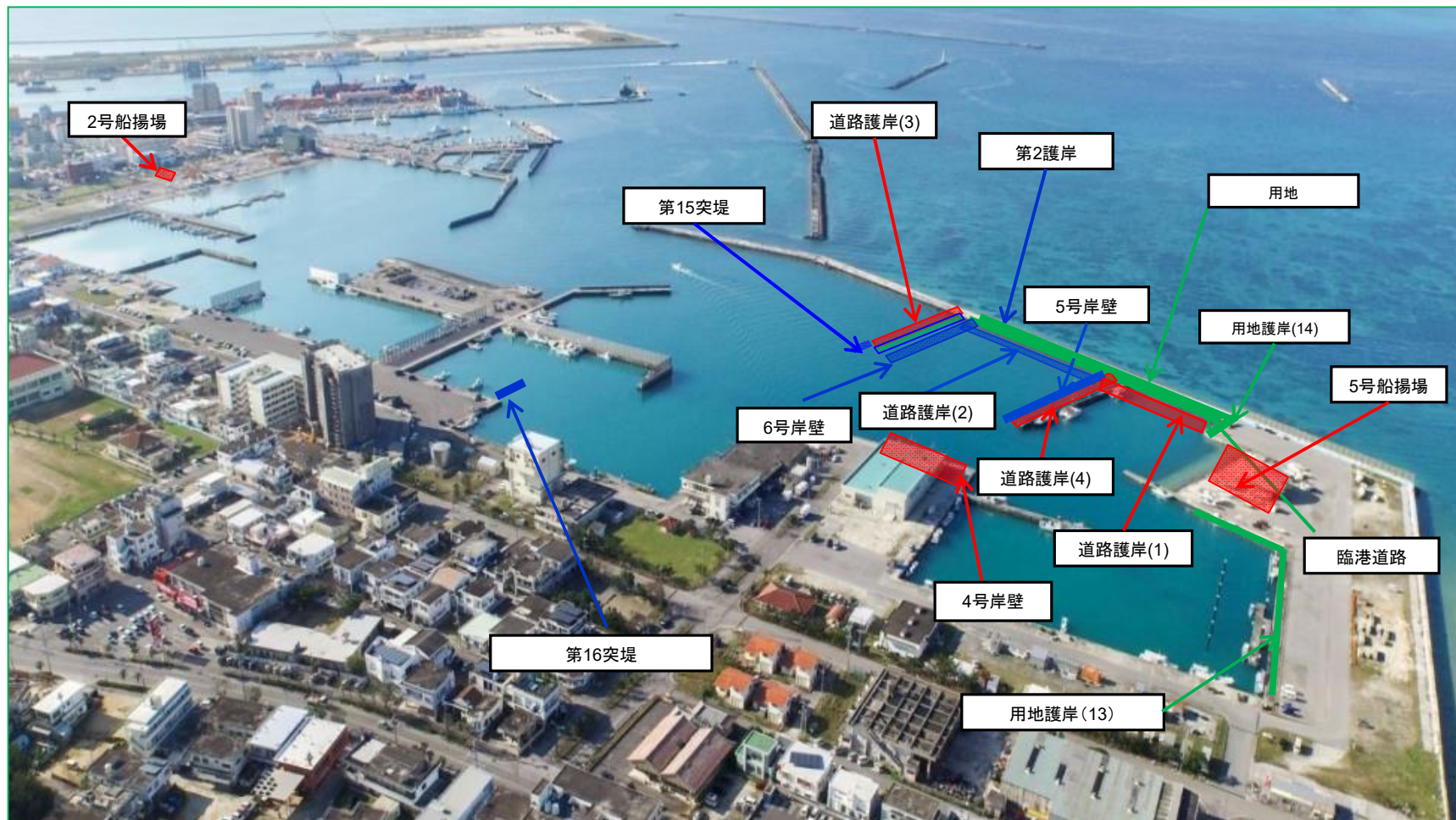


① 台風時の浮桟橋被災状況



② 漁船陸揚げ待ち状況





石垣漁港 第二種 県管理 昭和43年指定 平成28年撮影

